

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970900161		
法人名	医療法人忠友会		
事業所名	グループホーム武田の里		
所在地	山梨県韮崎市神山町北宮地8		
自己評価作成日	令和 5 年 11 月 13 日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai gokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
訪問調査日	令和 6年 2月 8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人として、診療所・デイケア・訪問介護・居宅介護支援事業所などを併設しています。自然に囲まれた環境のため住宅が少なく、地域住民との交流は少ないですが、多機能な事業所、また医療法人としての特性を活かし、日々のケアに努めています。利用者様の「その人らしさ」を大切にし、入居されてもご自宅と同じように自分らしい自由な生活が送れるように職員一体となって取り組んでおります。近年においてはグループホームで最期を迎える方も増えており、併設診療所とも連携しながら看取り介護にも積極的に取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム武田の里は、武田勝頼の妻が祀られているという武田八幡宮の近くにあり、自然豊かな田園風景の中にあります。その地域で、地域密着型事業所として、管理者及び職員は、「その人らしく暮らし続ける事を支える理念を作り上げました。自分の化粧品を使いたい・生活の延長である美容院・寝る時間は自由・職員と一緒に食事を作るなど、一人ひとりの利用者の性格や生き立ち、価値観、趣味やライフスタイルなど、その人の背景をしっかり受け止めてケアにあたっています。管理者及び職員は、本人・家族等の要望や意見を聞きながら、安心して暮らせるよう「その人らしさ」を大切にしたい理念の具現化に努めています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる(参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている(参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある(参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) (※窓越しの面会など距離をとった交流)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている(参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている(参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている(参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている(参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている(参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム武田の里**

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(すみれ)	ユニット名(さつき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所内に運営理念を掲示すると共にミーティングなどを通じて、管理者・職員の間で理念を共有し、その人らしく暮らせるように支援している。職員間でも雑談の中でも何がその人らしいのか、ということについては常に話題に出ている。理念がケアに反映されているか確認し合っている。	事業所内に運営理念を掲示すると共にミーティングなどを通じて、管理者・職員の間で理念を共有し、その人らしく暮らせるように支援している。職員間でも雑談の中でも何がその人らしいのか、ということについては常に話題に出ている。理念がケアに反映されているか確認し合っている。	管理者及び職員は、地域密着型サービスとして、武田の里は何を大切にするか話し合い、理念を作り上げました。職員の入社時に説明をしています。サービス提供場面で言葉がけや態度など、気づいたことは連絡ノートで共有し、日常的に振り返りを行っています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	以前までは地域の福祉祭りに参加したり、図書館に通う方がいたり、学生や障害者施設からの職場体験なども受け入れをしていた。コロナ対策で外部との交流が難しくなりましたが、近隣の学生向けの認知症講座など依頼があればおこなっている。今年は地元の祭りの花火が見られた。	以前までは地域の福祉祭りに参加したり、図書館に通う方がいたり、学生や障害者施設からの職場体験なども受け入れをしていた。コロナ対策で外部との交流が難しくなりましたが、近隣の学生向けの認知症講座など依頼があればおこなっている。今年は地元の祭りの花火が見られた。	法人として施設(会場)を地域住民に提供しています。事業所は、田んぼ、畑の中に立地しており、近所の方が立ち寄ってくれたり、作物のお裾分けがあったりします。管理者は、認知症サポート講座の講師として中学校に出向いています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市でおこなっている認知症ネットワークの会議や上記のように認知症サポーター講座などに協力しながら、地域へも認知症の理解が浸透するようお手伝いさせていただいている。	市でおこなっている認知症ネットワークの会議や上記のように認知症サポーター講座などに協力しながら、地域へも認知症の理解が浸透するようお手伝いさせていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	市の介護保険担当、地域包括支援センター、民生委員の方などに出席していただき活動を報告している。参考になる意見は取り入れている。コロナ禍においては集まるのが難しい面があるため、書面にて報告をしている。以前は会議内で地域の困り事などについて有意義な話し合いができていた。	市の介護保険担当、地域包括支援センター、民生委員の方などに出席していただき活動を報告している。参考になる意見は取り入れている。コロナ禍においては集まるのが難しい面があるため、書面にて報告をしている。以前は会議内で地域の困り事などについて有意義な話し合いができていた。	事業所の取組等、書面にて報告し、意見等は電話等で聞き取りを行っています。コロナ禍以前の対面会議開催時は、自己評価等の話し合いも行き、メンバーから出された意見等は、利用者のサービス向上に活かすよう努めていました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市とは密接なコミュニケーションを取っている。困っている方について市から相談をもらい入居に至るケースも多く、また事業所からも介護に困難な部分がある方に関しては随時相談させていただいており、関係は良好に保っている。地域ケア会議などで事例発表するなどして連携を図っている。	市とは密接なコミュニケーションを取っている。困っている方について市から相談をもらい入居に至るケースも多く、また事業所からも介護に困難な部分がある方に関しては随時相談させていただいており、関係は良好に保っている。地域ケア会議などで事例発表するなどして連携を図っている。	利用者の様子や、事業所の様々な具体的なニーズを担当課と相談したり、事業所の困難事例や行政からの相談など積極的に交流を図り、情報を共有し、協力関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間は防犯のための施錠はしているが、それ以外の時間は常に開放している(ただしコロナ対策もあり、外部の方の出入りについては入り口での確認をさせていただいている)。身体拘束やスピーチロックもしないよう、職員間で声を掛け合うように心がけている。定期的に身体拘束禁止委員会を開き、現状確認している。	夜間は防犯のための施錠はしているが、それ以外の時間は常に開放している(ただしコロナ対策もあり、外部の方の出入りについては入り口での確認をさせていただいている)。身体拘束やスピーチロックもしないよう、職員間で声を掛け合うように心がけている。定期的に身体拘束禁止委員会を開き、現状確認している。	管理者及び職員は、事業所固有のリスクを把握しています。事故事例や職員が気づきを持つことのできる研修会や委員会にて、お互いに確認し合い、共有認識を図っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者・職員共に虐待がないように注意を払っている。スタッフから、ではなくご家族であったり、なんらかの疑わしいケースに遭遇した場合には、地域包括支援センターに報告や相談するようにしているが、近年はそうした事案も少ない。	管理者・職員共に虐待がないように注意を払っている。スタッフから、ではなくご家族であったり、なんらかの疑わしいケースに遭遇した場合には、地域包括支援センターに報告や相談するようにしているが、近年はそうした事案も少ない。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業などを利用している方や、今後成年後見制度を利用している方もいるため、必要があれば協力させていただいている。	日常生活自立支援事業などを利用している方や、今後成年後見制度を利用している方もいるため、必要があれば協力させていただいている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面及び口頭で契約内容について説明し、納得していただいたうえで契約を結んでいた。不安や疑問点がないか、こちらから尋ねるようにしている。	書面及び口頭で契約内容について説明し、納得していただいたうえで契約を結んでいた。不安や疑問点がないか、こちらから尋ねるようにしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム武田の里**

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(すみれ)	ユニット名(さつき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者とは日々話をする時間を作っている。ご家族とは面会の機会が少なくなりがちなので、電話や手紙などで様子を伝えたり、意見を求めている。直接言いづらい内容は併設事務所に伝えてもらったり、無記名で投書できるボックスを用意している。実際に要望があったことについては、可能な限り対応している。	利用者とは日々話をする時間を作っている。ご家族とは面会の機会が少なくなりがちなので、電話や手紙などで様子を伝えたり、意見を求めている。直接言いづらい内容は併設事務所に伝えてもらったり、無記名で投書できるボックスを用意している。実際に要望があったことについては、可能な限り対応している。	家族等から「食べたいものを食べさせてあげたい。携帯電話の使い方の工夫を…」等の意見があり、職員間で話し合い、家族等にもアドバイスを頂き、サービスに活かしています。様々な機会を通じて意見や要望等を頂くよう努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングに限らず普段からスタッフの要望を随時確認するようにし、必要な事柄については上司に伝え、会社全体で改善できるように相談を行っている。法人全体での会議の際にも、事業所からの要望などを伝え、会社として改善できそうなことについては対応してもらっている。	ミーティングに限らず普段からスタッフの要望を随時確認するようにし、必要な事柄については上司に伝え、会社全体で改善できるように相談を行っている。法人全体での会議の際にも、事業所からの要望などを伝え、会社として改善できそうなことについては対応してもらっている。	加湿器が必要。食材の購入の件。」など、管理者は利用者が一番近くにいる職員の気づきやアイデアを聞く機会を持ち、働きやすい職場環境を目指し、出された意見等は運営に活かすよう努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有給休暇などは毎月取れるような体制を作っている。また研修は業務扱いで行けるように配慮している。	有給休暇などは毎月取れるような体制を作っている。また研修は業務扱いで行けるように配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修については回覧などで周知し、参加者を募っている。認知症介護実践者研修なども勧めている。外部での研修に参加しづらいスタッフについては、内部研修などで知識を深められるようにしている。コロナ対策で外部との繋がりが希薄になりがちだが、交流が途切れないようにしている。	外部の研修については回覧などで周知し、参加者を募っている。認知症介護実践者研修なども勧めている。外部での研修に参加しづらいスタッフについては、内部研修などで知識を深められるようにしている。コロナ対策で外部との繋がりが希薄になりがちだが、交流が途切れないようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の活動や県のグループホーム協会、ケアマネ同士の集まりや地域ケア会議などを通じて交流を図っている。直接、対面できる機会はコロナ前よりは減ってしまったが、他の事業所の管理者とは随時交流している。	市の活動や県のグループホーム協会、ケアマネ同士の集まりや地域ケア会議などを通じて交流を図っている。直接、対面できる機会はコロナ前よりは減ってしまったが、他の事業所の管理者とは随時交流している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人の困りごとや不安な点、要望などについて確認している。入院中や他施設からの移行を希望されている方は直接様子を見に行かせていただいている。入居してからもその人らしく生活が継続できるように支援している。	入居前にご本人の困りごとや不安な点、要望などについて確認している。入院中や他施設からの移行を希望されている方は直接様子を見に行かせていただいている。入居してからもその人らしく生活が継続できるように支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族に対しても上記のような対応を行っている。本人と家族のニーズとに違いがある場合には、お互いに納得ができるように調整を行っている。	ご家族に対しても上記のような対応を行っている。本人と家族のニーズとに違いがある場合には、お互いに納得ができるように調整を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その人にとって必要な支援については必ず確認を行っており、グループホーム以外の外部のサービスが必要な方については、活用できるよう支援している。	その人にとって必要な支援については必ず確認を行っており、グループホーム以外の外部のサービスが必要な方については、活用できるよう支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	元気な方には掃除や食器の片付けなど家事の手伝いをさせていただくことで、役割分担を行っている。動作が難しい方でもその人に何かできることはないか、目標や生きがいを持てるように随時検討している。	元気な方には掃除や食器の片付けなど家事の手伝いをさせていただくことで、役割分担を行っている。動作が難しい方でもその人に何かできることはないか、目標や生きがいを持てるように随時検討している。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム武田の里

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(すみれ)	ユニット名(さつき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診などにはご家族も同行してもらうことで本人との関係が途切れないようにしている。コロナ対策もあり自由に外出してもらったり、外泊をしてもらうことが難しいが、その中でもご家族にできることについては無理のない範囲で協力していただいている。	受診などにはご家族も同行してもらうことで本人との関係が途切れないようにしている。コロナ対策もあり自由に外出してもらったり、外泊をしてもらうことが難しいが、その中でもご家族にできることについては無理のない範囲で協力していただいている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ対策との兼ね合いもあるが、馴染みの美容院に行けるように手配したり、窓越しなどで面会できるように努めている。なかなか以前通りとはいかない面はあるので、散歩をしたり、受診などの際にドライブなどができるように配慮している。	コロナ対策との兼ね合いもあるが、馴染みの美容院に行けるように手配したり、窓越しなどで面会できるように努めている。なかなか以前通りとはいかない面はあるので、散歩をしたり、受診などの際にドライブなどができるように配慮している。	オンライン地図サービスで住んでいた家の周辺を一緒に見たり、行きつけの美容院に出かけたり、祖先への墓参り、ドライブついでに家に出かけたり...そのような思いを大切に、一人ひとりの関係を継続できるような支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い方と過ごせるように座席の配置を工夫したり、座談できるスペースを設けている。食器を洗ったり他の方の食事を見守ってくださる利用者さんもあり、利用者さん同士での助け合いができています。	仲の良い方と過ごせるように座席の配置を工夫したり、座談できるスペースを設けている。食器を洗ったり他の方の食事を見守ってくださる利用者さんもあり、利用者さん同士での助け合いができています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後でも時折、様子をうかがったり入院などをした場合には可能な範囲で面会などに行くようにしている。	サービス終了後でも時折、様子をうかがったり入院などをした場合には可能な範囲で面会などに行くようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりとゆっくり会話できる時間を作りながら意向の確認をしている。意志の疎通が難しい方については、ご家族に元気な頃の姿を聞いたりしながら、本人本位な支援がおこなえるよう配慮している。引継ぎノートなどを活用しながら、スタッフ全員が思いを理解できるように工夫している。	一人ひとりとゆっくり会話できる時間を作りながら意向の確認をしている。意志の疎通が難しい方については、ご家族に元気な頃の姿を聞いたりしながら、本人本位な支援がおこなえるよう配慮している。引継ぎノートなどを活用しながら、スタッフ全員が思いを理解できるように工夫している。	コミュニケーションが困難な利用者には、どんな時に嬉しい表情をするのか、何があって不機嫌になるのかなど、引継ぎノートに記録しています。一人ひとりとゆっくり会話する時間を持ち、職員全員が思いを理解できるように工夫しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご自宅を訪問するなどし、入居してからこれまでの生活習慣が大きく変わることがないように支援している。施設の決まりを強制しないように努めている。	入居前にご自宅を訪問するなどし、入居してからこれまでの生活習慣が大きく変わることがないように支援している。施設の決まりを強制しないように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者の状態は日々違っているため、画一的な支援にならないようその日その時の状況に応じて対応している。	入居者の状態は日々違っているため、画一的な支援にならないようその日その時の状況に応じて対応している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフだけでなく必要に応じて医師や作業療法士とも相談し、本人にとって最適な介護計画を作るよう心がけている。計画以外にも普段から最適なケアについては日々検討をおこなっている。3ヶ月に1回モニタリングはしているが、他にも随時話し合いをおこない、軽微な変更はその場で対応している。	スタッフだけでなく必要に応じて医師や作業療法士とも相談し、本人にとって最適な介護計画を作るよう心がけている。計画以外にも普段から最適なケアについては日々検討をおこなっている。3ヶ月に1回モニタリングはしているが、他にも随時話し合いをおこない、軽微な変更はその場で対応している。	介護計画に基づき、日々の関わりの中で意見交換を行い、モニタリングを重視して、見直しを行っています。現状に即した、一人ひとりに必要な生活支援を盛り込んだ計画となっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別の記録やその他連絡ノートは出勤時に各スタッフが必ず目を通した上で申し送りをし、情報共有している。	日々の個別の記録やその他連絡ノートは出勤時に各スタッフが必ず目を通した上で申し送りをし、情報共有している。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム武田の里

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ユニット名(すみれ) 医師の訪問診療、介護用品の利用なども含めて、グループホーム内部でのサービスだけで終わるのではなく、その人にとって柔軟な対応をするように心がけている。	ユニット名(さつき) 医師の訪問診療、介護用品の利用なども含めて、グループホーム内部でのサービスだけで終わるのではなく、その人にとって柔軟な対応をするように心がけている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の自立支援事業の利用などを行っている。コロナで難しくなりましたが、それまでは地域の図書館の利用などを行っている方もいたので、機会があればそうしたことも再開していけると良いと考えている。	地域の自立支援事業の利用などを行っている。コロナで難しくなりましたが、それまでは地域の図書館の利用などを行っている方もいたので、機会があればそうしたことも再開していけると良いと考えている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設診療所もあるが主治医の変更を強制したりせず、別の病院の医師とのやりとりも頻繁におこない、認知症の専門医ともたびたび連携を取りながら、必要時には受診の同行もおこない、安心して過ごせるように支援している。これまでの関係性もあり、地域の医療機関とも良好な関係を保っている。	併設診療所もあるが主治医の変更を強制したりせず、別の病院の医師とのやりとりも頻繁におこない、認知症の専門医ともたびたび連携を取りながら、必要時には受診の同行もおこない、安心して過ごせるように支援している。これまでの関係性もあり、地域の医療機関とも良好な関係を保っている。	今迄のかかりつけ医となっており、脳外科・眼科・歯科等との連携を取りながら、受診時に家族同行の場合は、様子を記録して伝えています。複数の医療機関と連携を取り、適切に医療が受けられるよう支援しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設診療所の看護師も協力してくださっており、専門的な体調管理に努めている。緊急時には診療所の医師もすぐに駆けつけるようにしてくださっている。看取りをする機会も多いため、常に連携は取っている。	併設診療所の看護師も協力してくださっており、専門的な体調管理に努めている。緊急時には診療所の医師もすぐに駆けつけるようにしてくださっている。看取りをする機会も多いため、常に連携は取っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は付き添ったり情報提供しているほか、入院中は連携室や看護師と適宜やりとりしながら、現在の状態を把握できるようにしている。研修などで顔を合わせることも多いので、各病院の看護師とも良好な関係は築いている。	入院時は付き添ったり情報提供しているほか、入院中は連携室や看護師と適宜やりとりしながら、現在の状態を把握できるようにしている。研修などで顔を合わせることも多いので、各病院の看護師とも良好な関係は築いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、看取りの指針については契約時に全員に説明したうえで、そのときがきたら再度、医師も交えて終末期のケアの方針について家族の意向も踏まえて確認するようにしている。医療法人であるため、看取り希望される方には診療所の医師がかかりつけ医になって対応している。	重度化、看取りの指針については契約時に全員に説明したうえで、そのときがきたら再度、医師も交えて終末期のケアの方針について家族の意向も踏まえて確認するようにしている。医療法人であるため、看取り希望される方には診療所の医師がかかりつけ医になって対応している。	契約時から、本人、家族等の意向について医療関係者と共に、繰り返し話し合いを持っています。「私があの人にいくときは、手を握ってね」と、馴染みの関係の中で看取られる事の安心感を大切に、本人にとって良い最期を迎えられるよう支援に努めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修などを通じて応急法について学んでいる。判断が難しい場合には併設診療所の医師・看護師からも助言、ご指導をいただき、正しい判断が行えるように努めている。	研修などを通じて応急法について学んでいる。判断が難しい場合には併設診療所の医師・看護師からも助言、ご指導をいただき、正しい判断が行えるように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的防災訓練を行っている。近隣住民にもいざというときのお願いはしている。災害時(台風の際)などには消防署からも電話をくださり、相談の元で適切に避難誘導することができた。	定期的防災訓練を行っている。近隣住民にもいざというときのお願いはしている。災害時(台風の際)などには消防署からも電話をくださり、相談の元で適切に避難誘導することができた。	消防署、地域の協力を得て、災害が発生したらどうするかなど、訓練計画に基づいて実施しています。	今後災害が発生したら、どう行動するか(災害の種類・大きさ・当日の季節・利用者や職員の状況・家族や職員の被災状況など)、様々なリスクを拾い出し、対策を行い、想定外を少なくする災害対策を期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせて自尊心を傷つけないような声かけを行っている。居室にうかがう際にもノックをしたり、声をかけてから入室するようにしている。お名前を呼ぶ時は名字で呼ぶようにしている。また、個人情報に関する書類は別室に保管し、他者に見られないように気をつけている。	一人ひとりに合わせて自尊心を傷つけないような声かけを行っている。居室にうかがう際にもノックをしたり、声をかけてから入室するようにしている。お名前を呼ぶ時は名字で呼ぶようにしている。また、個人情報に関する書類は別室に保管し、他者に見られないように気をつけている。	認知症ケアの基本を管理者及び職員は理解し、日頃何気なく使っている言葉使いや態度など、全員で再確認するよう、徹底を図っています。	

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム武田の里**

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(すみれ)	ユニット名(さつき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアの方針、その日の過ごし方について一方的に決めるのではなく、本人に尋ねるようにしている。判断が難しい方の場合には、その方の立場になって考えるよう心がけている。	ケアの方針、その日の過ごし方について一方的に決めるのではなく、本人に尋ねるようにしている。判断が難しい方の場合には、その方の立場になって考えるよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活習慣が全員違うことは当たり前と考えているので、自由に生活を送れるよう支援している。画一的なレクなども強制することなく、一人ひとりがその人のペースで生活している。	生活習慣が全員違うことは当たり前と考えているので、自由に生活を送れるよう支援している。画一的なレクなども強制することなく、一人ひとりがその人のペースで生活している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着たい服をご自身で選んでいただいたり、ほしい物があるときにはご家族にも協力していただきながら、その人らしい姿で過ごせるよう配慮している。行き着けの美容室などがあれば、利用していただいている。	着たい服をご自身で選んでいただいたり、ほしい物があるときにはご家族にも協力していただきながら、その人らしい姿で過ごせるよう配慮している。行き着けの美容室などがあれば、利用していただいている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいものを探して用意させていただいたり、出来る方には配膳や片付け、調理の補助などをお願いしている。ご家族にもそれぞれが好きな物を時々買ってきていただいている。	食べたいものを探して用意させていただいたり、出来る方には配膳や片付け、調理の補助などをお願いしている。ご家族にもそれぞれが好きな物を時々買ってきていただいている。	玉ねぎの皮むきやお茶入れ、食器洗いなど、それぞれ役割として職員と共に食事の準備や片付けを行っています。職員は、利用者と一緒に食事をとり、楽しい食事時間となっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その日に食べた物、水分量などを記録し医師とも相談しながら、栄養不足や脱水が起きないように気をつけている。普通の食事形態が難しい方にはきざみや、ミキサー食などでの対応もしている。	その日に食べた物、水分量などを記録し医師とも相談しながら、栄養不足や脱水が起きないように気をつけている。普通の食事形態が難しい方にはきざみや、ミキサー食などでの対応もしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	菌磨き、入れ歯の洗浄は毎日おこなっており、自分ですることが難しい方には介助をおこなっている。	菌磨き、入れ歯の洗浄は毎日おこなっており、自分ですることが難しい方には介助をおこなっている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尿意がない方には時間で誘導を行っている。一時的に身体機能が低下しオムツを利用していた方でも、回復してきたときには外せるようにしている。また夜間はトイレまで間に合わないという方には、お部屋にポータブルを設置し安全に使用していただいている。	尿意がない方には時間で誘導を行っている。一時的に身体機能が低下しオムツを利用していた方でも、回復してきたときには外せるようにしている。また夜間はトイレまで間に合わないという方には、お部屋にポータブルを設置し安全に使用していただいている。	トイレでの排泄を大切に、一人ひとりについて職員間で常に見直しを行い、排泄パターンを把握し、生活リズムに沿った時間誘導を行い、行きたい時にトイレに行く支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬剤だけに頼るのではなく、ヨーグルトなどの乳製品や食物繊維の多い食品を取り入れることで便秘予防につなげている。	薬剤だけに頼るのではなく、ヨーグルトなどの乳製品や食物繊維の多い食品を取り入れることで便秘予防につなげている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に合わせた支援をしている	急変する可能性や他の方の見守りもあるため、スタッフが一人の時間帯は避けていただいているが、それ以外は希望に沿った日、時間に行えるように心がけている。好みのボディソープやシャンプーがある方は施設の物を強制せず、持参していただいている。	急変する可能性や他の方の見守りもあるため、スタッフが一人の時間帯は避けていただいているが、それ以外は希望に沿った日、時間に行えるように心がけている。好みのボディソープやシャンプーがある方は施設の物を強制せず、持参していただいている。	入浴したい時に風呂に入ったり、利用者のペースに合わせて入浴ができ、冬至のゆず湯や気晴らしに大きい風呂に入ったりして楽しんでいます。自分の好みの石鹸やシャンプーを使い、安全に入浴を楽しめるよう支援しています。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム武田の里

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(すみれ)	ユニット名(さつき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床、就寝時間などルールとして定めていないため、それぞれのペースで入居前に近い状態で眠れるよう支援している。また、安眠用に寝心地の良いマットレスを取り入れている。	起床、就寝時間などルールとして定めていないため、それぞれのペースで入居前に近い状態で眠れるよう支援している。また、安眠用に寝心地の良いマットレスを取り入れている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとり手渡し、あるいは介助することで飲み忘れがないよう確認している。飲んでいる薬の種類、量などについてはスタッフ全員で確認し把握するようにしている。	一人ひとり手渡し、あるいは介助することで飲み忘れがないよう確認している。飲んでいる薬の種類、量などについてはスタッフ全員で確認し把握するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	全員に同じレクを強制しないようにし、一人ひとりが違った楽しみ、価値観を持っていることを理解し、入居前にしていた楽しみが継続できるよう支援している。	全員に同じレクを強制しないようにし、一人ひとりが違った楽しみ、価値観を持っていることを理解し、入居前にしていた楽しみが継続できるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ対策のために気軽に外に出かけることは難しくなりましたが、それ以前は近隣のお店にみんなで食事に行ったり、あるいは家族と食事に出かける方もいた。そういったことがまた行えるようになると良いと思う。現在は時々散歩に出たり、庭でお茶を飲むなどで気分転換している。	コロナ対策のために気軽に外に出かけることは難しくなりましたが、それ以前は近隣のお店にみんなで食事に行ったり、あるいは家族と食事に出かける方もいた。そういったことがまた行えるようになると良いと思う。現在は時々散歩に出たり、庭でお茶を飲むなどで気分転換している。	近くの河川で花火を見たり、庭でお茶を楽しんだり、畑で野菜作りをしたりと、リスクを最小限に抑えて個別の支援に努めています。今迄のように図書館に出かけたり、皆で食事に行ったりしたいねなど、利用者それぞれの希望が叶えられるよう検討しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失の可能性も考え、大金については事務所で管理させていただいているが、買い物したいとき、ほしいものがあるときには相談していただき、その中から買い物ができるように支援している。介護用品などについては、種類や色などは業者さんに来ていただき、本人にも選んでもらっている。	紛失の可能性も考え、大金については事務所で管理させていただいているが、買い物したいとき、ほしいものがあるときには相談していただき、その中から買い物ができるように支援している。介護用品などについては、種類や色などは業者さんに来ていただき、本人にも選んでもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話がかかけたい方には自由に使っていただいているほか、携帯電話を使っている方も3名いる。手紙を書く時にはお手伝いさせていただいたり、スタッフが投函してさしあげたりしている。	電話がかかけたい方には自由に使っていただいているほか、携帯電話を使っている方も3名いる。手紙を書く時にはお手伝いさせていただいたり、スタッフが投函してさしあげたりしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花などを飾ったりしながら、居心地の良い空間が作れるよう支援している。飾りつけを手伝ってもらうこともある。	季節の花などを飾ったりしながら、居心地の良い空間が作れるよう支援している。飾りつけを手伝ってもらうこともある。	窓からは田園風景が眺められ、春は早苗が植えられた田んぼ、秋は稲刈りの風景が楽しめ、利用者にとって、生活感や季節感を感じられる暮らしの場となっています。廊下には、椅子が置かれ、ゆっくりくつろげる場となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	独りになることも仲の良い方と過ごしたいことも、本人の自由にしていただいている。他者に迷惑にならない範囲であれば、自由に過ごせることは当然のことであると考えている。	独りになることも仲の良い方と過ごしたいことも、本人の自由にしていただいている。他者に迷惑にならない範囲であれば、自由に過ごせることは当然のことであると考えている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込む家具の制限もしていないので、家で使っていた家具やテレビ、好きな本、写真などを自由に持ってきていただいている。	持ち込む家具の制限もしていないので、家で使っていた家具やテレビ、好きな本、写真などを自由に持ってきていただいている。	居室には、家族との写真やテレビ、本、季節の花など飾られています。それぞれの居室の入口は分かるように名前が貼られ、書道家の方の居室は達筆な文字で書かれており、その人らしく心地よく過ごされる工夫がされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー環境で安全に過ごせるようにしている。手すりなども活用していただき、出来るだけご自身で歩けるように支援しているほか、車椅子使用の方であっても自分で操作できる方にはおこなっていただいている。	バリアフリー環境で安全に過ごせるようにしている。手すりなども活用していただき、出来るだけご自身で歩けるように支援しているほか、車椅子使用の方であっても自分で操作できる方にはおこなっていただいている。		